

入会から10年 会員事業所同士の交流促進を図る 10年会員交流会を開催!

当所に入会して10年目を迎えた会員事業所を対象に「新潟商工会議所10年会員交流会」を、11月20日、20事業所の参加で開催しました。この交流会は10年を一つの節目とし、その間の「厚誼に感謝するとともに、会員事業所のより一層の発展を目指して交流を深めてもらうことを目的に開催しているもので、今年で3回目の開催となります。

開会にあたり、福田会頭から「この10年間は、リーマンショックなど経済的に厳しい状況が長く続いてきましたが、ようやく景気が回復してきたと言われはじめました。地方の中小企業にとっては、まだまだ実感に乏しいのが現状ですが、新潟商工会議所では今後、地域産業の振興に向け、様々な事業に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。



交流会のようす

続いての講演では、入会10年会員でもある(有)キャリアアプロ・コンサルタントの小林しほり氏が「やる気を育てる聴きかた・話しかた」効果的な社員育成」をテーマに、中小企業の人材育成のポイントについて解説しました。

小林氏は、管理職のスキルアップが重要で、特に傾聴スキル(相手に「もっと話したい、関心をもって聞いてもらえた」と思わせる聴き方)とパワースキル(安心感・信頼感を基に相手を説得し動かす力)の向上を図って欲しいと説明しました。

その後の懇談会では、各事業所PRなど活発な情報交換が行われ、参加者からは、「今まで会議所活動には積極的に参加してこなかったが、今後はできるだけ参加したい」「このような異業種交流の場は、貴重な体験となった」などの声寄せられました。

今後1年間の委員会活動の抱負を語る 正副委員長との懇談会

11月24日、正副委員長と正副会頭の懇談会が開催され、11月1日から新たな任期がスタートした各委員長から

ら、今後1年間の委員会活動の抱負などについて発言がありました。

総務委員会 富山委員長
商工会議所の事業計画並びに予算、決算など事業運営に関する重要事項について審議している。パワーアップ5000推進委員会の活動を強力にバックアップしていきたい。

池田委員長
当委員会が発案したビジネス情報交換会が好評であり成果を上げている。引続き退会防止策についても検討していく。

企業経営委員会 佐藤委員長
例年議論している税制改正・中小企業施策に関する検討項目に加え、時代の変化に対応した目新しい題材を発掘し、取扱っていききたい。

国際貿易委員会 原委員長
引き続き港湾振興についての研究と取

各委員会の正副委員長名簿

(任期：平成27年11月1日～平成28年10月31日) (敬称略)

委員会名	委員長	副委員長	委員(名)
総務委員会	富山 修一	中山 真徳 霜鳥 雅徳	13
企業経営委員会	佐藤 紳文	木山 光成 小林 康成	17
国際貿易委員会	原 雄二	長谷川 克弥 西岡 徹浩	14
まちづくり委員会	阿部 正喜	渡辺 義彦 竹内 正喜	19
政策委員会	田巻 清文	藤田 普彦 宮下 克彦	13
パワーアップ5000推進委員会	池田 洋子	若山 良夫	15



挨拶する当所福田会頭

組みを重ねることと並行し、今年度から、県産品を中心とした農産品や食品の輸出拡大に向けた研究を行っている。

まちづくり委員会 阿部委員長
①ICTを活用した新たなまちづくり、②ユニバーサルデザインを活用した快適なまちづくり、③新潟駅及び周辺の拠点性向上によるまちづくりを主要テーマとして活動していきたい。

政策委員会 田巻委員長
昨年行った「新潟の産業活性化に向けた産学官連携の強化に関する提言」に基づき、「にいがた産官学金連携推進ネットワーク」が立ち上がった。産学官連携に新しく新しいテーマとして、交流人口の拡大に向けた「新しい観光」について研究と意見交換を始めている。



積極的に自社PRする参加者

今年度4回目となるビジネス情報交換会を、11月12日に開催しました。「ビジネス情報交換会」は、会員事業所同士がお互いの事業の情報交換し合い、新たなビジネス機会を創出することを目的に開催しており、回を重ねるごとに内容が充実され、実際に多くのビジネス機会が生まれています。当日は、参加者24名が8つのグループに分かれてのビジネスマッチングを2回行いました。参加者からは「内容のある具体的なお話をすることができ、今後もお会いする約束ができた」など成果につながる意見がありました。なお、過去に開催された「ビジネス情報交換会」の様子は、新潟商工会議所のホームページからご覧いただけます。

第4回ビジネス情報交換会を開催!

夢は叶う! 独立開業への第一歩!

〜にいがた創業塾〜



創業塾の講義のようす

創業予定者や創業間もない方を対象に、10月3日から10月31日の間、全5回講座で「にいがた創業塾」を開催しました。出席者は延べ19名。最終講座までに、開業に向けた自らのビジネスプランを作成することを目標に、創業に必要な手続きやマーケティング、資金繰りの重要性や事業計画書の作成方法などを学びました。受講者からは「心構えや計画の立て方を学ぶことができ、参考になった」「曖昧な計画が具体的になってきた」「支払いと回収の関係など、資金繰りの考え方が理解できた」などの感想が寄せられました。近年は創業相談が急増しています。

第68回新潟県珠算競技大会優勝者

(敬称略)

第1部のI (50歳未満)

個人総合	野島 未希	三井住友銀行
読上暗算	野島 未希	三井住友銀行
読上算	洲崎 美紀	(株)北越銀行
フラッシュ暗算	野島 未希	三井住友銀行

第1部のII (50歳以上)

個人総合	小島 佳紀	荒川珠算学校
------	-------	--------

第2部(高校生)

個人総合	樋熊ひかり	津南中等教育学校
読上暗算	中沢 美月	三条東高等学校
読上算	中沢 美月	三条東高等学校
フラッシュ暗算	樋熊ひかり	津南中等教育学校

第3部(中学生)

個人総合	二戸 優佳	三条第一中学校
読上暗算	二戸 優佳	三条第一中学校
読上算	太田 美紅	燕中等教育学校
フラッシュ暗算	樋熊 樹	津南中等教育学校

第4部(小学校5・6年生の部)

個人総合	松田 暁亮	長岡小学校
読上暗算	松田 暁亮	長岡小学校
読上算	滝沢 周大	吉田南小学校
フラッシュ暗算	松田 暁亮	長岡小学校

第5部(小学校4年生以下の部)

個人総合	松田 祐奈	長岡小学校
読上暗算	松田 祐奈	長岡小学校
読上算	松田 祐奈	長岡小学校
フラッシュ暗算	松田 祐奈	長岡小学校

当日は県内各地の小学生から社会人まで183名が5部門に分かれて、個人総合競技・読上暗算競技・読上暗算競技・フラッシュ暗算競技の技能を競いました。当所並びに新潟県商工会議所連合会、新潟県珠算振興会の主催により、県内におけるそろばんの振興とそろばん技術の向上を図ることを目的とした第68回新潟県珠算競技大会が、11月3日、学生総合プラザSTEPで開催されました。

鍛錬されたそろばん技能を競う

新潟県珠算競技大会



そろばんの腕を競う選手たち

当所では開業後も訪問等を通じた経営相談を行っており、安定した事業運営を行うためにも当所を積極的にご活用ください。

合いました。

各競技優勝者は別表のとおりです。